



ストップ STOP! 地球温暖化

富士市地球温暖化防止対策実行計画と
富士市グリーン購入基本方針の
平成17年度の取り組み結果をお知らせします。

進む地球温暖化



温室効果ガスって？

産業革命以降、世界中で化石燃料（石炭、石油）の使用量が増加したことで、二酸化炭素などの「温室効果ガス」の大气中の濃度が増加を続けています。このため、地球の平均気温が年々上昇する「地球温暖化」が進んでいます。地球温暖化が進むと、気候の変化により水害や渇水の恐れが増すほか、生態系や人体にも深刻な悪影響が及ぶと考えられています。

大气中の二酸化炭素やメタンなどのガスは、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。これらのガスを「温室効果ガス」と呼び、電気・ガス・石油などのエネルギーの使用が、主な排出源とみられています。



地球温暖化防止の取り組み

富士市地球温暖化防止対策
実行計画

市は、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス排出量を減らすための取り組み「富士市地球温暖化防止対策実行計画」を平成13年度に策定しました。

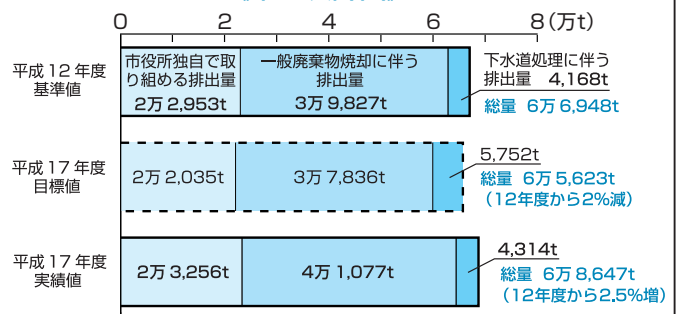
第一次計画（平成14～17年度）の実施後、見直しを行い、平成17年度中に第二次計画（平成18～22年度）を新たに策定しました（右図参照）。

グリーン購入とは、環境負荷の低い物品（エコマークつき物品、再生紙使用物品など）を率先して購入することです。平成13年、市は「グリーン購入基本方針」を策定し、環境に優しい物品の購入を進めています。

平成17年度は、138品目を対象品目として定め、公用車やOA機器など46品目のグリーン購入率100%を達成。そのほかの物品もおおむね80%以上の達成率です。平成18年度は、136品目を対象品目として取り組んでいます。

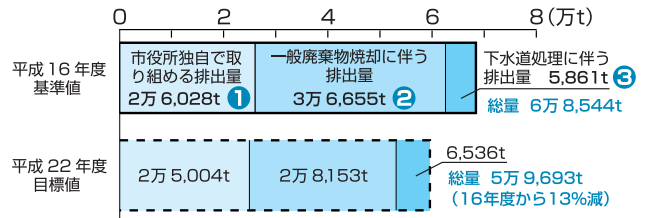
温室効果ガスの排出量（CO₂量）

《第一次計画》



第一次計画では、平成12年度基準値に比べ、全体で2.5%増。施設の増改築や行政サービスの増加、廃プラスチック類の焼却量増加、下水道の普及などが主な原因。

《第二次計画》



第二次計画では、平成16年度実績値を基準に、全体で13%減となるよう削減目標を設定。

- ① 省エネ行動の徹底、施設の省エネルギー化、公用車を低公害車・CNG（天然ガス）車に更新など
- ② ごみ資源化量の増加（紙とプラスチックの固形燃料化）による焼却量の削減など
- ③ 下水処理施設への省エネルギー型設備の導入など

問い合わせ 環境政策課

☎55-2901 ☎51-0522

✉ka-kanyouseisaku@div.city.fuji.shizuoka.jp

🌐http://fujishi.jp/cityhall/kankyo-b/k_seisaku/